

2022 Japan National Team Report ” サポーター”



報告者氏名	堤 伸浩
大会名	2022 世界選手権
開催地	トルコ ボドルム
大会期間	6/29-7/6

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について

このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	トルコの南西部、エーゲ海沿いの観光地。6月末でも40℃超の暑さ。毎日午後からシーブリーズが吹き、大会期間中は概ね 5-9m 程度の北西の風が吹いていた。沖合の島との間がレース海面だったが朝は弱かった様子。練習期間は左有利出会ったが、右岸に停泊し始めた豪華客船によるベンドと風の集約の影響か、本番は右奥が上る事が多く難しいコース採りが求められた。
宿泊場所	選手と役員はマンダリンリゾートホテル。サポーターはと近くの一軒家をシェア。ホテルに近いため、自炊による日本食提供や洗濯のサポートがスムーズであった。
大会のサポーターへの対応は	大会会場へはパスがないと入場出来なかった。初日はサポーター向けに観覧船が出たが、二日目以降は 30 名以上の希望者が集まらないとキャンセルされる事となっていた。ホテルとのシャトルバスはパスのチェックがなく、選手とは同乗する事が出来た。
選手たちのコンディションいつもとどうでしたか？	ホテルでは同学年男子5人で仲良く過ごしており、リラックスしていつもと変わらない様子であったが、やはりレース直前は緊張しているようであった。藤田選手は食物アレルギーがあり大会側の食事サポートが杜撰で対応に苦労していた。
サポーターとして気をつけたことは？	選手達の健康と安全を第一に考え、リラックスしてレースに臨める様子を心掛けた。
海外の選手を見て感じたことは？	強風域では日本勢はトップクラスと互角に戦えるスピードがあった。中風域でもゴールド中盤以降とは十分戦えるスピードと上りがあったように思う。ワンセール、Jセール、CD セールのユーザーが殆ど。フランスはノースセールVシリーズで走っていた。ここ数年のトレンドでもあるが、ウェザーヘルムが出にくいセールを使用し、レーキを倒してブームを中に引き込み上らして走る選手が多いように見えた。日本勢では悠人のセッティングや走らせ方に近い。(レーキ 2780 程度) ゴールド上位との間においては、スタート後に有利な海面に向かって集団から抜け出せるスピードや位置

	取り、有利海面を見分ける視野の広さ、スタート前の混戦の中で直前の風のシフトを感じ取り対応する即応力等に明確な差を感じた。ヨーロッパの高いレベルで切磋琢磨されている中で培われたセンスであろう。
日本の選手を見て感じたことは？	初日のレースでワンソーフイニッシュを決めた様子、スタートとコースが良ければスピード面ではゴールド中位を走れるポテンシャルを感じたが、スタートや最初のタックで不利な状況に陥り、自滅する展開が多かったように思う。クローズに比べてフリーのスピードには少し課題があるかもしれない。
Spare day の過ごし方は？	
日本チームとしての課題はありましたか	海外経験豊富な後藤コーチ、統率力がある池田監督の元で、選手達のチームワークも良く、素晴らしいチーム活動が出来ていたと思います。もう少し上位も期待してましたが、国別20位、チームレース16強はまずまずの成果だと思います。
JODAへの要望	海外上位選手や著名なコーチを招待し、合同レースやクリニックを開催して頂けると日本全体の底上げに繋がるのではないかと思います。
その他	国内合宿を含めて、選手への様々なサポートやワールドコーチへの助成金に心より感謝申し上げます。有難うございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会